

2022 年秋学期授業開講方針（コロナ禍の対応）

2022 年 9 月 20 日

国際開発研究科長

名古屋大学の授業実施方針の変更に伴い、国際開発研究科では以下のとおり 2022 年度秋学期授業実施方針を下記のとおり変更することとしましたのでお知らせします。

なお、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況により、学期途中で変更する可能性があります。

教育活動（講義科目・演習）

（1）開講方法

対面での実施を原則とします。

ただし、「日本の開発経験」はオンラインで開講します。

（2）対面で参加できない場合の対応

以下の理由により、対面で授業参加できない学生のために、Zoom、Teams またはその他のオンライン会議システムを使って開講する場合があります。

①新型コロナウイルス感染症の陽性者(※)及び濃厚接触者

※陽性証明及び陰性証明の提出は求めません。

②体調不良者（発熱、喉痛、倦怠感）

③その他、特別な理由のある学生（当該授業の担当教員に相談すること）

大学の方針はこちらをご確認ください：

「新型コロナウイルス感染拡大状況下での対応（2022.9.7～）」

https://www.nagoya-u.ac.jp/info/upload_images/20220202_02.pdf

（3）その他注意事項

- ・教員が濃厚接触者となった場合は、オンラインで開講することがあります。。
- ・オンライン参加者は質問の時間が与えられます。
- ・教員及び学生は屋内においては、マスクを着用してください。ただし、2m距離を置くことができる場合で会話がほとんどない場合、マスクの着用は必要ありません。
- ・一人おきに着席し、使用禁止の席には座らないでください。前後左右に着席者がいないようにしてください。
- ・机に番号を付しているのので、学生は着席場所を記録してください。受講者は、受講する座席番号、授業名および日時を記録してください。これは、新型コロナウイルスの感染者が発生した場合、感染者と密接に接触したことがあるかどうかを知るために必要な情報となります。
- ・窓の一部とドアを開放し、換気に努めてください。

入館

(1) GSID への入館

- ・体温が 37.5℃以上の場合は入館しないでください。
- ・GSID 建物内では 3 密（密接、密閉、密集）を回避してください。
- ・1m の社会的距離を保ってください。
- ・マスクを常に着用してください。

(2) 院生室の利用

- ・窓とドアを開放してください。
- ・使用する学生は、入退室時間を記録してください。これは、新型コロナウイルスの感染者が発生した場合、感染者と密接に接触したことがあるかどうかを知るために必要な情報となります。
- ・院生室では、静粛に努め、オンライン授業を受講しないでください。

(3) 演習室の利用

- ・個別指導や授業をオンラインで受講する場合、院生室ではなく、空いている演習室を Wi-Fi アクセスポイントとして利用するようにしてください。

(4) 学生ラウンジ（2 階）

- ・2 階階段前の学生ラウンジに加え、2 階 205 号室も使用できますが、会話は控えてください。

(5) 食事の場所

- ・院生室または屋外を利用してください。

(6) 研究・教育以外の学生活動

- ・GSID 棟内で行う場合、感染防止に留意してください。

博士学位審査関連

博士後期課程学生の中間報告、予備審査及び口述試験は、主指導教員の判断により対面、オンラインまたは併用による実施とします。